

科目名	看護研究入門 Nursing Research: Introduction		担当教員 (研究室番号)	上田 貴子 (304) 他		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	3年次 前期	科目 区分	総合科目		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1(15)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
											オープンクラス	否
科目 目的	看護におけるさまざまな研究の分野・理論・方法について理解し、卒業研究において各自が実際に研究論文を作成するために必要な基本的知識を学ぶ。											
ディプロマ・ ホルダー (DP)	主要なDP	G 看護学に対する研究的視点を持ち、主体的に学ぶ姿勢を有している。(関心・意欲)										
	関連する DP	A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。 (姿勢・態度) D 様々な職種との連携において、看護専門職者としての役割を理解し、多職種による協働活動に参加できる。 (技能・表現)										
到達 目標	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマやリサーチクエストを見つけ、卒業研究に結びつけることができる。 看護研究に関する理論や研究方法について理解できる。 様々な研究に触れることで研究的視点を養うことができる。 											
成績評価方法 (基準)	期末レポートにより評価する。											
再試験の有無と 基準等	再試験なし											
教科書	使用しない											
参考書等	<ul style="list-style-type: none"> 南裕子, 野嶋佐由美 編: 看護における研究 第2版, 日本看護協会出版会, 2017. 黒田裕子: 黒田裕子の看護研究Step by Step 第5版, 医学書院, 2017. 石村光資郎, 石村友二郎: 卒論・修論のためのアンケート調査と統計処理, 東京図書, 2014. 谷津裕子: Start Up 質的看護研究 第2版, 学研メディカル秀潤社, 2014. 											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	講義として知識を得るにとどまらず、研究テーマや具体的なリサーチクエストを考えること、研究目的を決定すること、目的に応じた研究方法を選択すること等、研究を進めるプロセスの一部を体験する。独創的な発想に期待するとともに、研究という新たな「知」を創造するための具体的方法や堅実な手段について理解して欲しい。											
備考	教員が輪講の形式で担当します。教員の都合により授業開催時期が前後することがあります。											
回	学習項目					学習内容					主担当 教員	授業 方法
1回	看護研究とは					4年次で履修する卒業研究への導入として、研究とは何か、その看護における意義や必要性等について概説する。					(学長)	講義
2回	論文クリティーク					論文の読み方を理解するとともに、関心のある分野における先行研究の内容を吟味する方法について学ぶ。					上田	講義
3回	量的研究〔概論〕					量的研究の研究テーマやリサーチクエストの設定、研究目的の決定、研究手法の選択等研究を進めるプロセスに触れる。					大西	講義
4回	質的研究〔概論〕 データ収集の方法①〔インタビュー〕					質的研究について研究課題や研究デザインの設定、研究の手順等研究を進めるプロセスに触れる。 インタビュー調査の方法、注意点や分析方法等を学ぶ。					浦野	講義
5回	データ収集の方法②〔アンケート調査〕					アンケート調査について、作成のための注意点やデータの処理等について概説する。					関根	講義
6回	データ収集の方法③〔実験・計測によるデータ取得とその解析〕					実験や計測について、実施のための原則、注意点やデータの処理等について概説する。					齋藤	講義
7回	看護研究の実際①					看護研究の実際について学ぶ。					(学内教員)	講義
8回	看護研究の実際②					看護研究の実際について学ぶ。					(学内教員)	講義

学 習 課 題

第2回～第8回

関心がある研究テーマを探索しながら、目的達成あるいは課題解決に必要な手法を適切に選択できるよう学習した内容を復習し、身に付ける。第8回終了後、学習内容に基づいた期末レポートを作成し提出する。

実務経験を活かした教育の取組